

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育実践演習 ナンバリング：2601	保育士資格取得のための 必修科目	単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：持田京子 担当形態：クラス分け
系 列	総合演習		
教科目	保育実践演習		
授業の到達目標及びテーマ 1. 保育士として必要な専門知識及び技能についての力を総合的に身につけることができる。 2. 実習を通じた体験をもとに、保育における現代的な課題について理解し、地域や社会に求められている保育について広い視野から理解することができる。 3. 実習や実践を通して、それらを振り返り、自己の課題を明確にできる。さらにそれらを次の実践力につなげるための課題と具体的な方法を考えることができる。			
授業の概要 保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等を習得、形成するために、討議、ロールプレイ、実践を用いて考察を深める。また保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察する力を習得する。これらの学びを踏まえ、自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力を定着して、自らの学びを振り返り、さらなる実践につなげる力を身につける。			
授業計画 第1回：保育者として必要な専門知識を考える。(1) 第2回：保育者として必要な専門知識を討議する。(2) クラス運営 第3回：保育者として必要な技術を具体的に挙げて考える。 第4回：保育者が必要な技術について意見交換と学び合いをする。 第5回：保育者に必要な技術について制作実践をして、学び合う。(1) 第6回：保育者に必要な技術について制作実践をして、学び合う。(2) 第7回：地域社会から保育者に求められるものについての意見交換をする。 第8回：実習の学びを踏まえ、自己の課題を明確にする。 第9回：自己課題について発表する。意見交換をする。 第10回：現代の保育に求められる人間関係についてのロールプレイ 第11回：自らの得意な保育分野の研究発表の準備をする。 第12回：得意分野の研究発表をする。(1) 第13回：得意分野の研究発表をする。(2) 第14回：実践に対する、評価、反省、について学ぶ。 第15回：発表後、保育者としての知識、実践力について話し合う。 定期試験：研究発表		授業時間外の学習 (毎回事後にまとめる 30分程度) 1. 保育所保育指針の熟読(60分程度) 2. 次週でのクラス運営調べ(60分) 3. 保育技術を考える(40分程度) 4. 保育技術の実践準備をする(90分) 5. 保育技術発表の準備(90分) 6. 保育技術の発表準備(90分) 7. 保育者に求められるものの考察(40分) 8. 実習を踏まえた自らの課題の追求と発表準備(90分) 9. 実習を踏まえた自己課題とその解決について発表準備(60分程度) 10. 現代に求められる保育考察(40分) 11. 得意分野の研究発表計画(90分) 12. 得意分野の研究発表準備(90分) 13. 得意分野の研究発表準備と振り返り(90分) 14. 保育計画実践の評価と反省(60分) 15. 保育者としての知識と実践力についてまとめる(90分)まとめ提出	
授業の方法 演習。実践、発表の中でそれぞれの課題に対しコメントする。			
テキスト 『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』文部科学省・厚生労働省・内閣府 チャイルド社			
参考書・参考資料等 必要に応じて適宜配布する。			
学生に対する評価 実践発表(30%)、受講態度等(50%)、レポート(20%)			
履修上の注意 予習・復習を必ず行い、内容を理解した上で授業に臨むこと。積極的に授業に参加して活発な発言や演習を行うこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	元幼稚園勤務、保育所巡回指導員
実務経験を活かした教育内容 幼稚園勤務、公立保育所、私立保育園の巡回指導を活かして、保育者に求められる基礎的な知識と技術の教授、現代社会における保育士の課題、クラスづくりなど学生が具体的に考え、実践できる授業を行う。			